

北本市の収入と支出を分析しました。

桶川市・北本市・鴻巣市の3市比較からみた北本市の特徴

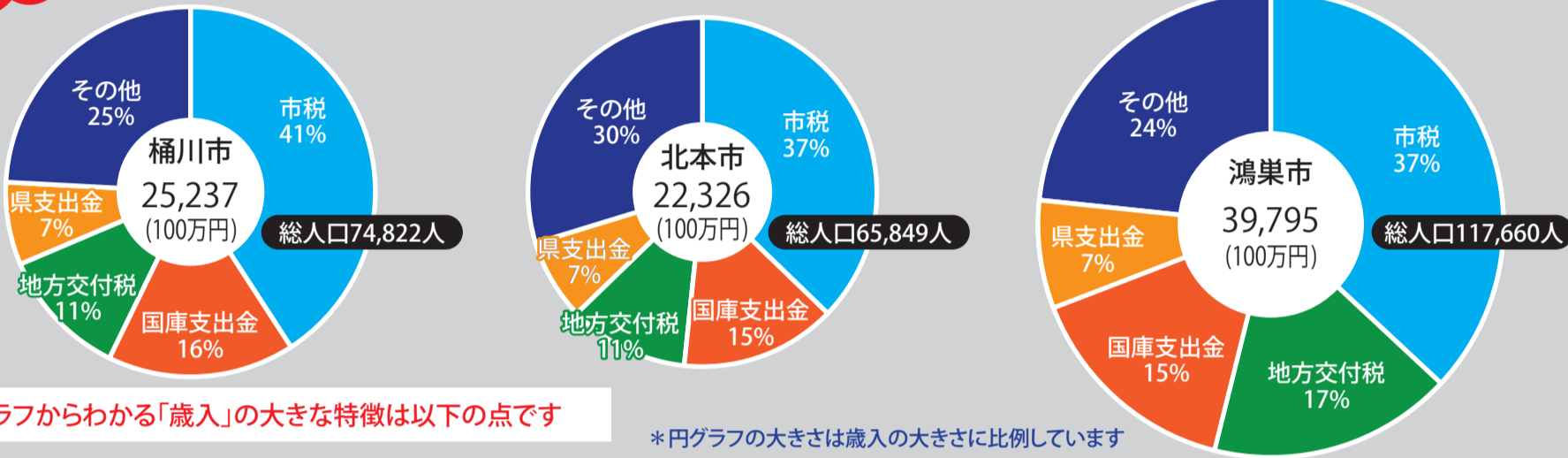
各市の財政において、収入のことを「歳入」、支出のことを「歳出」と呼びます。
まず、桶川市・北本市・鴻巣市の令和4年度(2022年度)の一般会計歳入・歳出を円グラフでみていただきます。



1 歳入 (円グラフによる全体像/大分類の3市比較)

「1-1 3市の歳入の全体像」と「1-2 3市の主な大分類項目の比較」にわけて見ていきます。

1-1 3市の歳入の全体像



3市の一般会計歳入円グラフ

令和4年度

円グラフからわかる「歳入」の大きな特徴は以下の点です

- ◆市税・地方交付税・国庫支出・県支出・で40%以上を占める。
- ◆3市とも市税が最大、ただし、比率は桶川市が高い。
- ◆鴻巣市の地方交付税の比率が高く、国庫支出金を上回る。

*円グラフの大きさは歳入の大きさに比例しています
*中央の小円に総額(単位:100万円)
*円グラフの歳入項目中の数値は総額に対する比率(%)

桶川市が他の2市よりも「市税」の比率が高い理由は、法人市民税収入が多く、個人市民税収入も少し多いためと考えられます。
鴻巣市が他の2市よりも「地方交付税」の比率が高い理由は、自主財源が少ないことと、吹上町と川里町との合併効果によるものと考えられます。

1-2 3市の主な大分類項目の比較

円グラフの大分類の主なものを取り上げて見ていきます。

1-2-1 市税

	桶川市	北本市	鴻巣市
予算額(百万円)	10,335	8,570	14,749
対歳出比(%)	40.95	38.36	37.06
一人当たり(円)	138,139	130,144	125,350

3市とも、歳入全体に占める市税の割合は40%前後と最大の比重を占めています。また、一人当たりの額をみると桶川市が一番多くなっています。

市税の内訳は、個人市民税・固定資産税・都市計画税・法人市民税が主なものですが、桶川市と北本市の一人当たりの差をみると、個人市民税で3,000円、都市計画税で4,000円あり、全体の8,000円の差の主要因と言えます。つまり、北本市に比較して、全体人口差以上に生産年齢人口の差による個人市民税の差が大きく、市街地の大きさと都市計画税率の違いにより、桶川市の庁税額が高いことが理由ということです。

鴻巣市と北本市一人当たりの額の差5,000円はほぼ固定資産税の一人当たりの差額に相当しています。

つまり、鴻巣市と北本市の全体人口の差よりも、鴻巣市の固定資産税の絶対額が小さいことが理由と言えます。

1-2-2 地方交付税

	桶川市	北本市	鴻巣市
予算額(百万円)	2,870	2,568	6,754
対歳出比(%)	11.37	11.49	16.97
一人当たり(円)	38,358	38,998	57,403

地方交付税は、自主財源の不足分が国から補填されるもので、桶川市と北本市の財政力はほぼ等しいということになります。鴻巣市の地方交付税が高い理由は、吹上町・川里町との月日に際して発行された「合併特例債」の償還分が加算されていると考えられます。

1-2-3 国庫支出金

	桶川市	北本市	鴻巣市
予算額(百万円)	4,119	3,346	6,063
対歳出比(%)	16.32	14.98	15.23
一人当たり(円)	55,051	50,812	51,528

国庫支出金は、道路・公共施設・生活保護などの具体的な事業に対する補助です。その年度の各市の状況によって違ってきます。令和4年度に関しては、桶川市・鴻巣市・北本市の順に大きくなっています。

1-2-4 県支出金

	桶川市	北本市	鴻巣市
予算額(百万円)	1,798	1,665	2,917
対歳出比(%)	7.13	7.45	7.33
一人当たり(円)	24,038	25,292	24,799

県支出金も、国庫支出金と同様に、道路・公共施設・生活保護などの具体的な事業に対する補助です。その年度の各市の状況によって違ってきます。令和4年度に関しては、一人当たりの額はほぼ横並びと言えます。

1-2-5 寄付金

	桶川市	北本市	鴻巣市
予算額(百万円)	41	944	65
対歳出比(%)	0.16	4.23	0.42
一人当たり(円)	551	14,340	1,405

北本市が突出していますが、これはふるさと納税による寄付額が埼玉県一であることによります。地方交付税の算定には反映されない財源として、北本市にとっては貴重な財源となっています。

北本市議会 会派みらい 所属議員紹介

「会派みらい」には中道市民派の4人の議員が所属しています。会派内での議論は十分行いますが、議案などの採決に関しては、会派で縛らず個々の判断で行います。



大嶋達巳 (おおしま たつみ)

会派 代表
総務文教常任委員会委員
桶川北本水道企業団議会議員

会派代表の大嶋達巳です。議員の任期も残り1年となりました。引き続き市民の皆様の目線で物事を考え、長・市政に対しては是々非々の姿勢で言うべきことをハッキリ言い続けます。



諏訪善一良 (すわぜい ちりょう)

建設経済常任委員会委員
埼玉県中央広域事務組合議会議員

うさぎの形の北本市
便利な街きたと造り
未来造りが政治の責任
みなみ北本駅、上尾バイパス私達の責任で
効果的な行政役所仕事でない役所造り



高橋伸治 (たかはし のぶはる)

健康福祉常任委員会委員
桶川北本水道企業団議会議員

不易流行を「変えない勇氣」と「変える勇氣」の融合と考え、信条としています。物理的な資源が少ない北本市においては、「人」を資源とすべきと考えて、議員活動を行っています。



日高英城 (ひだか ひでき)

会派 幹事長
総務文教常任委員会委員長
埼玉県中央広域事務組合議会議長

とことん市民目線!!
地域共生社会実現のため、医療的ケア児から地域猫活動まで。
みんなの味方、ガンバります(´▽`)

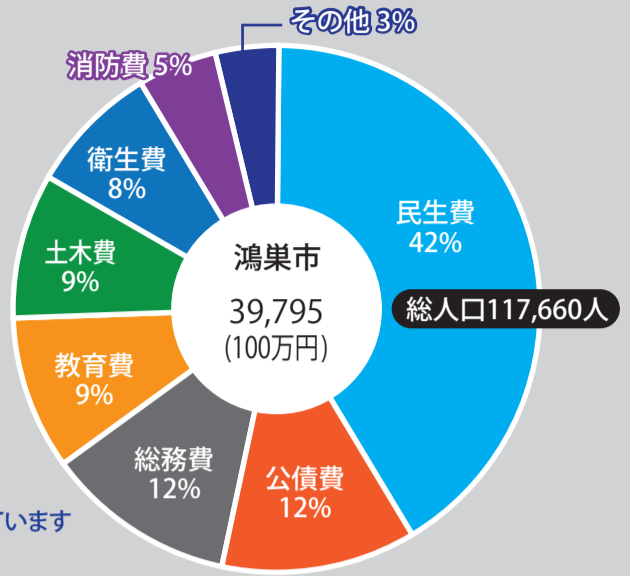
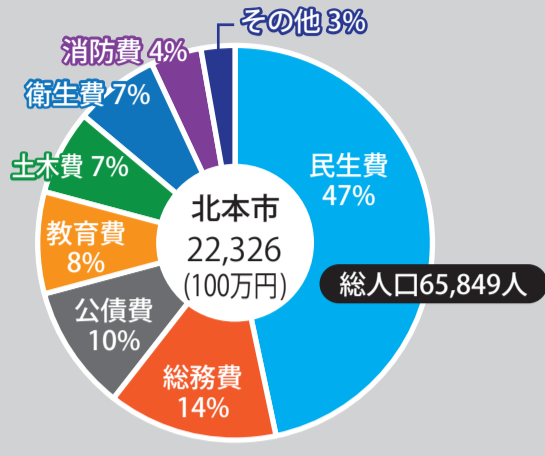
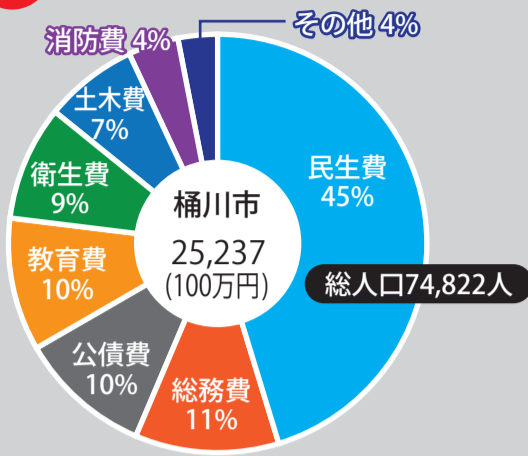
2

歳出 (円グラフによる全体像/大・中分類の3市比較)

「2-1 3市の歳出の全体像」と「2-2 3市の主な大分類項目の比較」にわけて見ていきます。

2-1

3市の歳出の全体像



3市の一般会計歳出円グラフ

令和4年度

円グラフからわかる「歳出」の大きな特徴は以下の点です

- ◆民生費・総務費・公債費・教育費で3/4以上を占める。
- ◆最大である民生費の比率は、北本市、桶川市、鴻巣市の順で大きい。
- ◆公債費は、わずかに鴻巣市が大きい。

民生費の大きな部分が福祉関係の給付金であるため、最も高齢化が進んでいる北本市が比率を高めることになっています。公債費は、借金の返済であり、財政規模が大きく比率も高い鴻巣市の総額は大きくなっています。ただし、歳入における「地方交付税」が他の2市より大きいのは、地方債返済財源として国が配慮していることによると考えられます。

*円グラフの大きさは歳出の大きさに比例しています
*中央の小円に総額(単位:100万円)
*円グラフの歳入項目中の数値は総額に対する比率(%)

2-2

3市の主な大分類項目の比較

円グラフの大分類の主なものを取り上げて見ていきます。

2-2-1 民生費

	桶川市	北本市	鴻巣市
予算額(百万円)	11,505	10,489	16,535
対歳出比(%)	45.59	46.95	41.55
一人当たり(円)	153,777	159,288	140,536

民生費は、3市とも歳出総額に占める比率が40%を越えて、歳出の中では最大です。特に北本市は最も高く、結果として一人当たりの額も3市の中で最も高く、桶川市とはわずかな差ですが、鴻巣市とは10%以上高くなっています。その理由は、北本市が令和4年度に、新中央保育所建設費約6億円の歳出を予定していることによります。

2-2-2 総務費

	桶川市	北本市	鴻巣市
予算額(百万円)	2,800	3,097	4,606
対歳出比(%)	11.10	13.86	11.58
一人当たり(円)	37,423	47,036	39,150

桶川市・鴻巣市に対して、北本市が歳出総額に占める比率が高く、結果として市民一人当たりの金額も両市より、20%以上高くなっています。その理由は、北本市のふるさと納税に対する返礼品などの歳出が両市に比較して3億円以上多いことによります。

2-2-3 公債費

	桶川市	北本市	鴻巣市
予算額(百万円)	2,638	2,346	4,717
対歳出比(%)	45.59	46.95	41.55
一人当たり(円)	153,777	159,288	140,536

公債費は、3市とも歳出総額の10%を越えていますが、中でも鴻巣市が桶川市・北本市よりも高く、結果として一人当たりの額も両市より15%以上多くなっています。この理由は、吹上町・川里町との合併の際に起債した合併特例債の影響が残っていると思われる。

2-2-4 教育費

	桶川市	北本市	鴻巣市
予算額(百万円)	2,545	1,800	3,774
対歳出比(%)	10.09	8.06	9.48
一人当たり(円)	34,019	27,338	32,075

歳出総額に占める比率は、桶川市が10%台、鴻巣市が9%台、北本市が8%台であり、一番低くなっています。結果として、北本市の一人当たりの額も桶川市・鴻巣市と比較して20%以上低くなっています。この理由は、桶川市が平成4年度に「歴史民俗資料館」の改修費約3億円と小学校校舎の改修費約1億円の歳出を予定していること、鴻巣市は鴻巣中学校改修費約2億円と中学校ICT費2.5億円の歳出がよいていされていることによります。

2-2-5 土木費

	桶川市	北本市	鴻巣市
予算額(百万円)	1,815	1,606	3,580
対歳出比(%)	7.19	7.19	9.00
一人当たり(円)	24,264	24,403	30,428

土木費の歳出総額に占める比率は、桶川市・北本市が7%台であるのに対し、鴻巣市が9%台となっています。この理由は、鴻巣市の市域が桶川市・北本市に比較して2倍以上あり、結果として、道路補修等に恒常的に費用がかかることによります。

2-2-6 衛生費

	桶川市	北本市	鴻巣市
予算額(百万円)	2,305	1,552	3,126
対歳出比(%)	9.13	6.95	7.86
一人当たり(円)	30,809	23,577	26,570

衛生費の歳出総額に占める比率は、北本市が7%弱、鴻巣市が8%弱であるのに対して、桶川市は9%を越えています。その結果、一人当たりの額も、鴻巣市は北本市に対して12%以上、桶川市は北本市に対して27%以上高くなっています。この理由は、「3-1-1 塵芥(じんかい)処理費」で説明しますが、桶川市のごみ焼却施設が停止していることによります。

2-2-7 消防費

	桶川市	北本市	鴻巣市
予算額(百万円)	996	920	1,945
対歳出比(%)	3.95	4.12	4.89
一人当たり(円)	13,324	13,967	16,529

消防費の歳出総額に占める比率は、桶川市と北本市が4%前後名であるのに対して、鴻巣市が5%に近づいています。この理由は、鴻巣市の令和4年度の事業として、防災避難所の改修費約3億円が常備消防費以外に計上されていることによります。

2-2-7 農林水産費

	桶川市	北本市	鴻巣市
予算額(百万円)	100	103	561
対歳出比(%)	0.40	0.46	1.41
一人当たり(円)	1,336	1,559	4,772

農林水産費の歳出総額に占める比率は3市とも高いとは言えませんが、桶川市・北本市が0.4%台であるのに対して、鴻巣市が3倍の1.4%、その結果一人当たりの額も桶川市・北本市の3倍となっています。この理由は、鴻巣市が桶川市・北本市に対して、吹上町・川里町との合併効果もあり、大きな農地を有していることによります。

2-2-5 商工費

	桶川市	北本市	鴻巣市
予算額(百万円)	196	123	548
対歳出比(%)	0.78	0.55	1.38
一人当たり(円)	2,623	1,874	4,661

商工費の歳出総額に占める比率は3市とも高いとは言えませんが、北本市が一番低く、次いで桶川市、鴻巣市と高くなっています。その結果、一人当たりの額も北本市が低く、桶川市が北本市よりも約40%、鴻巣市が北本市よりも150%多くなっています。

この理由は、北本市が市域の面積も小さく、産業振興より住宅都市を目指したのに対して、両市とも工業団地を設けて産業振興を計った結果と言えます。

2-2-8 塵芥(じんかい)処理費

	桶川市	北本市	鴻巣市
予算額(百万円)	1,165	753	1,321
対歳出比(%)	4.62	3.37	3.32
一人当たり(円)	15,569	11,436	11,226

塵芥(じんかい)とは「ごみ」の意味です。塵芥処理費の歳出総額に占める比率は、北本市・鴻巣市とも約3.7%ですが、桶川市は約4.6%と高くなっています。その結果、一人当たりの額も北本市・鴻巣市と比較して36%も多くなっています。この理由は、ここ数年、桶川市の焼却施設が停止し、市外の焼却施設に依頼して焼却しているため、高くなっています。

2-2-9 生活保護費

	桶川市	北本市	鴻巣市
予算額(百万円)	1,292	1,253	1,514
対歳出比(%)	5.12	5.61	3.80
一人当たり(円)	17,271	19,032	12,863

生活保護費の歳出総額に占める比率は、桶川市・鴻巣市に比較して、北本市が一番高くなっています。その結果、一人当たりの額も、北本市は桶川市に対して10%以上、鴻巣市に対して47%以上多くなっています。北本市には、比較的家賃の低廉な住宅が多いために、居住者が多いためと思われる。

編集後記

初めての3市財政比較により、各市の特徴が明らかになりました。しかし、それ以上に新しい分析事項が見えてきました。すべて横並びが良いわけではありませんが、他市と比較して北本市を理解することは有意義があります。今後財政以外の分析も行い、市民の皆様にお伝えしてまいります。この「市政報告」作成に際して多くの方のご助言とご協力をいただきましたことを感謝いたします。